

<別紙様式>

令和7年度 岐阜県地域学校協働活動事例報告書

◆本部名等

市町村名	中津川市	本部名	中津川市立福岡小中学校 学校運営協議会
活動学校名	中津川市立福岡小学校、福岡中学校		

◆組織図



◆推進員等人数

	有無	人数
地域学校協働活動推進員	有	1
コーディネーター		
学習支援員		
協働活動支援員(学校運営協議会委員)	有	16
協働活動サポーター		
その他ボランティア	有	120

◆推進員等(コーディネーター)の立場・活動

地域の事情を熟知している福岡公民館館長が中津川市地域学校協働活動推進員を務めている。また、同時に学校運営協議会の委員でもあるため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に尽力しやすい立場である。令和5年度、近隣3校が統合し、9月から福岡小学校が福岡中学校に隣接しスタートした。統合前の各小学校があった地域の活動や伝統行事を大切に活かし、取り組んでいる。

◆活動の内容

内容	実施	実施場所			主な内容
		授業内	授業外	地域	
①自然体験活動・地域課題解決型学習・郷土学習	○	○	○	○	ふるさと学習、職場体験学習等
②地域の行事、ボランティア活動への参画	○		○	○	各地域の祭り、Happyフェスティバル
③学校に対する協力活動(見守り、環境整備、授業支援など)	○	○	○	○	見守り、農業体験、小学校クラブ指導等
④学習支援活動(地域未来塾等)	○		○	○	夏休み工作教室(子ども夏祭り)
⑤家庭教育支援活動	○	○	○		家庭教育学級講演会
⑥スポーツ・部活動支援	○			○	地域クラブの支援(中学校)
⑦その他()					

◆特色のある活動

● 小学校の統合を超えて各地域の思いや伝統を大切に活動

<活動内容>

- ・統合前から各小学校で大切にされてきた活動(茶摘み、二ツ森山登山、米作りなど)を新しい小学校の活動に位置づけることで、統合したすべての地域の方と共に小学校づくりを進めることができている。
- ・統合前の4つの地区のお祭りやふくおか地区最大の行事であるHappyフェスティバルで、地域の方々と交流する機会を大切に繋いでいる。
- ・夏の友「ふるさとの話」を読み、そのよさを見つけるとともに、地元福岡の魅力を探る取組をしている。

<工夫や効果>

- ・保護者や地域の方の思いを受け入れ、当初の統合計画から登下校のスクールバスの運用を柔軟に決めたり、校舎建設地だった松林の伐採計画を見直したりした。
- ・新築の小学校の校舎の設計の意図を超え、校舎を使う子ども達や教員の工夫が、校舎を育てている。
- ・小学校と中学校が渡り廊下で1つに繋がりを形成し、あけぼの学園を形成し、日常から交流し互いに成長している。
- ・ふるさと学習の成果として、将来地元に住みたいと思う児童の割合が高く、ふるさとへの愛着が感じられる。



◆問い合わせ先

担当課・係	中津川市文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
連絡先	0573-66-1111